

●鋼管トラスフレーム

新設計のフレームボディーは鋼管トラス構造とし、強さとしなやかさを併せ持つとともに、高出力のパワーユニットに対応し、ライダーが体感できる安定感と走行フィール、車体骨格としての美しさを兼ね備えたフレームボディーを目標に設計しました。CAE解析により、各部を構成するパイプの径、肉厚、材質やそれらの接合位置を最適化し、耐久性、剛性バランス、振動特性、軽さなどフレームボディーに求められる性能を高次元でバランスさせました。また、テストライディングの繰り返しにより各ガセット類など細部に至るまで調整し、走行フィールを高度にチューニングしました。

●アルミGDCスイングアーム

設計のスイングアームにはガルアームを採用。右側アームをへの字形状とすることでエキゾーストパイプの外側への張り出しを抑え、車体のスリム化とバンク角確保に寄与させました。

また、比較的車体中心から離れたパーツとなるスイングアームをアルミ製とすることにより、リアのバネ下重量を軽減するとともに車体マス集中化による運動性能向上を図りました。

さらに、GDC(重力 casting) 製法により、部位ごとの肉厚最適化を図ることで非対称形状でありながら左右の剛性バランスを確保し、安定感に寄与しています。

●プロリンクサスペンション

リアサスペンションは、路面追従性と乗り心地に優れたプログレッシブな反力特性が得られるプロリンクを採用。リアサスペンションユニットには5段階のプリロードアジャストを装備し、ライダーの好みや2人乗り時への対応を図りました。

■フレーム、スイングアーム、プロリンク構成図(イメージCG)

